

高山市の財政は健全です

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、市の財政状況を判断するための指標を毎年公表しています。平成29年度も前年度までに引き続き、全ての指標において早期健全化基準を下回っており、健全な財政運営が図られています。*このことは監査委員審査意見書にも明記されています。

健全化判断比率

赤字額や将来負担がない場合は「-」で表示 (単位:%)

実質赤字比率	-	(11.90)
連結実質赤字比率	-	(16.90)
実質公債費比率	9.9	(25.0)
将来負担比率	-	(350.0)

●表中のカッコ内の数値は、市の早期健全化基準です。この基準を超えると財政健全化に向けた措置をとらなければなりません。

資金不足比率

資金不足額がない場合は「-」で表示 (単位:%)

下水道事業特別会計	-	(20.0)
地方卸売市場事業特別会計	-	(20.0)
農業集落排水事業特別会計	-	(20.0)
観光施設事業特別会計	-	(20.0)
水道事業会計	-	(20.0)

●表中のカッコ内の数値は、市の経営健全化基準です。

平成29年度の財務諸表 (一般会計等ベース)

市の財政状況を客観的に把握し、効率的な財政運営などに役立てるため、貸借対照表(バランスシート)をはじめとする財務諸表を作成し公表しています。財務諸表は単に作成・公表するだけでなく、今後の行政運営に活用していきます。



貸借対照表 (バランスシート)

資産の部 計2,336億3,656万円

(行政サービスを提供するために保有している資産(財産))

■固定資産：2,093億9,440万円

・有形固定資産：1,746億5,939万円

学校や道路、橋などの建設に使われたお金の総額

・無形固定資産：4億8,863万円

地上権や借地権など、形のない資産の総額

・投資その他の資産：342億4,638万円

関係団体への出資金や夢・まちづくり基金、福祉健康基金などの特定目的基金などの総額

■流動資産：242億4,216万円

現金のほか、財政調整基金などのすぐに現金化できる基金、市税などの未収金などの総額

負債の部 計368億1,724万円

(学校や道路などを建設するために市が借りたお金(借金)など将来の世代が負担する金額)

■固定負債：312億7,441万円

負債のうち、平成31年以降に支払う費用の総額

■流動負債：55億4,283万円

負債のうち、翌年度(平成30年度)に支払う費用の総額

純資産の部 計1,968億1,932万円(これまでの世代が負担した金額)

■純資産：1,968億1,932万円

学校や道路などを建設するために使われた国や県からの補助金や税金の総額

市民一人あたりにおきかえると...

土地や建物など
197.7万円
出資金など
38.7万円
現金など
27.4万円

借入金など
41.6万円
純資産
222.2万円

資産
263.8万円

負債と
純資産
263.8万円

*財務諸表は平成28年度より総務省が示す「統一的な基準」により、作成しています。

*行政コスト計算書や資金収支計算書など、詳細は市HPでもご覧いただけます。

広報ID 1002112